

鹿児島県立博物館研究報告

第8号 (平成元年)

BULLETIN OF THE KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

No. 8 (1989)

福田晴夫：アサギマダラ雌の内部生殖器系と卵巣成熟	1
福田晴夫・二町一成・守山泰司：日本産ナガサキアゲハの有尾型雌について (第5報)	7
畑田健治：鹿児島県のイナゴ属 (<i>Oxya</i>) の形態的特徴と分布(第1報)	11
脇 忠雄：鹿児島市内におけるホウライシダの分布資料(1)	17
久留義孝：特別展展示資料としての「ホテルの光信号発生機」の製作	23
山切美澄・馬越聡子：プラネタリウムCDコンサートの運営と問題	29
松永真由美：春日式土器をめぐる研究の現状と課題	35

Haruo Fukuda : Female Internal Genitalia and Egg Maturities of <i>Parantica sita</i> (Danaidae, Lepidoptera)	1
Haruo Fukuda, Kazunari Nicho and Taiji Moriyama : Notes on the tailed females of the Great Mormon, <i>Papilio memnon</i> L. (Papilionidae, Lepidoptera) in Japan(V)	7
Kenji Hatada : Some morphological features and distribution of four species of <i>Oxya</i> (Locustidae, Orthoptera) in Kagoshima pref. (I)	11
Tadao Waki : Distribution of <i>Adiantum capillus-veneris</i> L. in Kagoshima city.	17
Yoshitaka Hisadome : How to make the Light-Signal-Generator of a Firefly.	23
Yoshizumi Yamakiri and Toshiko Umagoe : Some Problems on Planetarium CD-Concert as an Activities of Museum.	29
Mayumi Matsunaga : Some Problems of study on Kasuga-type Pottery.	35

鹿児島県立博物館

KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

KAGOSHIMA, JAPAN

はじめに

調査・研究は博物館活動の中で資料収集、教育普及活動と並ぶ3本柱の一つですが、館員による研究成果はそのすべてが印刷物として公表されるわけではありません。それらは展示や教育活動の場で生かされ、社会的評価を受ける方がむしろ多いと思われます。

本書のような研究報告書として発表される事項は、内容の未熟さはあったにしても、それらが学問あるいは人類社会の進歩に寄与するという一種の自負あるいは期待感を著者たちが持っているものに限られるといえましょう。このような学問や社会に対する能動的姿勢は、学芸員に求められる大きな要素でもあると考えます。

当館の報告書も8年目で第8号になりました。発行された印刷物はできるだけ多くの人々、学界や博物館関係者のほかに、県内の学校や教育関係者を含む多数の県民の方々に読んでいただくよう願っております。

この小冊子が「保存しておきたい資料」の一つとして、大切に活用されればこれに過ぎる喜びはありません。ご批判、ご指導を賜れば幸いです。

平成元年1月

館長 北原昭男

鹿兒島県立博物館研究報告
第 8 号

平成元年 3月31日発行

編集・発行 鹿兒島県立博物館

〒892 鹿兒島市城山町1—1

TEL (0992) 23—6050

印刷所 文化印刷有限会社

〒892 鹿兒島市下竜尾町26番1号

TEL (0992) 47—1888(代)

鹿兒島博研・*Bull. Kagoshima Mus.*